



問い合わせ先  
第一管区海上保安本部  
(海氷に関すること)  
海洋情報部監理課長 永田 剛  
Tel 0134-27-0118 (内線2510)  
(海難に関すること)  
交通部安全対策課長 坂本 敬司  
Tel 0134-27-0118 (内線2640)

## 北海道沿岸における今季の海氷状況について

今季、サハリン沿岸からの海氷南下は早かったものの、北海道沿岸への海氷到来は、平年並みから1～2週間程度遅い状況でした。2月下旬以降、根室海峡及び国後水道から太平洋側へ海氷の流出が始まり、釧路や襟裳岬沖で海氷が観測されました。また、今季は5年ぶりに、羅臼港沖で海氷に起因する海難の発生がありました。4月に入ってから海氷は勢力を弱め、4月中旬以降、北海道沿岸からは観測されなくなりました。

第一管区海上保安本部では、オホーツク海など海氷が発生する海域を航行する船舶の海難事故を防止するため、昨年12月21日から海氷情報センターを開設して、海氷情報を収集・分析し、海氷速報、航行警報、AIS(船舶自動識別装置)、海の安全情報により、迅速な情報提供を行っています。

海氷は、現在もサハリンの南側に確認されており、海氷情報センターを閉所するには至っていませんが、今季のこれまでの海氷状況及び海氷に起因する海難発生状況を以下のとおりお知らせします。

### 1 今季の海氷状況

(1) 今季の海氷状況は、資料1のとおり以下の特徴がありました。

【12月】・サハリン沿岸からの海氷の南下は早く、12月27日には紋別の沖合約90km(北緯45度付近)まで海氷が南下した。12月中にサハリン南端(北緯46度付近)以南で海氷が観測されたのは、平成14年12月以来、14年ぶりとなった。

【1月】・12月下旬以降、1月中旬までは海氷の南下は鈍い状況であった。

・1月下旬以降、海氷は南下しつつ分布範囲を広げ、1月25日に稚内海上保安部における定点観測で3年ぶりに流氷初日を観測、1月26日に紋別海上保安部における定点観測で平年より2日早い流氷初日を観測、1月31日に網走海上保安署における定点観測で平年より7日遅い流氷初日を観測した。

【2月】・2月上旬以降、海氷はゆっくりと発達し分布範囲を広げた。

・2月中旬以降、海氷は根室海峡へ流入し、2月15日に羅臼海上保安署における定点観測で平年より8日遅い流氷初日を観測、2月25日に根室海

上保安部で平年より12日遅い流氷初日を観測した。

- ・ 2月下旬以降、海氷は根室海峡・国後水道から太平洋へ流出した。

【3月】・ 3月上旬、海氷は今季の最大勢力となった。サロマ湖以北の海氷は沖合に離れ沿岸からは観測されなくなり、紋別で平年より26日早い流氷終日を観測した。

- ・ 3月中旬～下旬、太平洋に流出した海氷は釧路や襟裳岬沖まで南下し、3月22日に花咲分室における定点観測で平年より18日遅い流氷初日を観測した。

【4月】・ 4月上旬以降、海氷は勢力を弱め、北海道沿岸からは観測されなくなり、根室、羅臼、花咲、網走で平年より2日～19日遅い流氷終日を観測した。

- ・ 4月25日現在、海氷は北緯45度30分（枝幸の沖合い約80km）付近まで衰退（北上）した。

(2) 海上保安部署・分室で実施した海氷※1(流氷※2、結氷※3)目視観測の結果は資料2のとおりでした。

※1 海氷：海で見られる全ての氷

※2 流氷：漂流している氷

※3 結氷：港内や海岸の海水が凍結してできた氷

## 2 海氷に起因する海難の発生状況

3月11日に羅臼港沖で漁船8隻が海氷に阻まれ航行不能となる集団海難の発生がありました。海氷に起因する海難は、平成24年2月、宗谷岬沖で外国貨物船が海氷と衝突した海難以降、5年ぶりの発生となります。(資料3参照)

# 北海道沿岸における 今季の海氷状況について

---

(資料編)

平成29年4月26日  
第一管区海上保安本部  
海氷情報センター



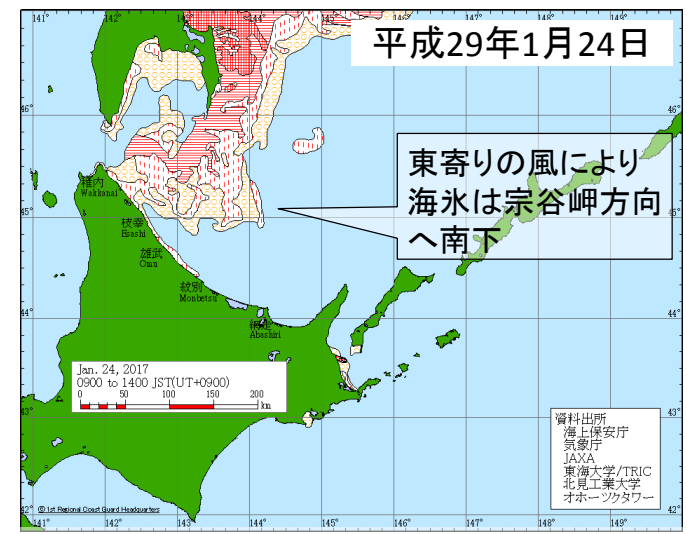
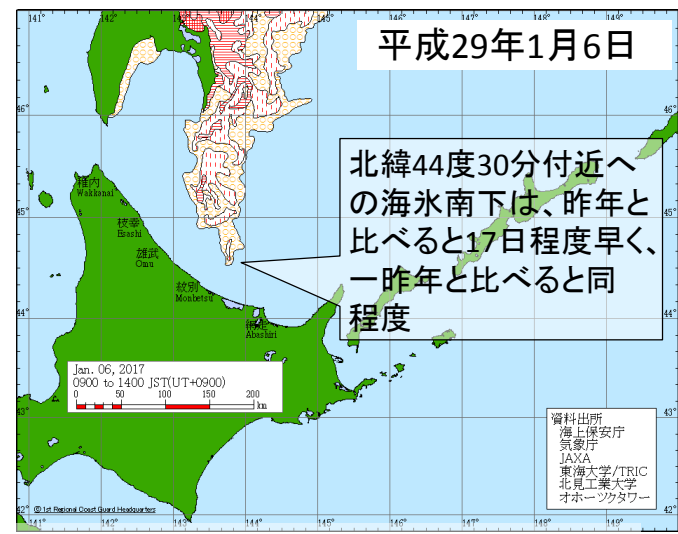
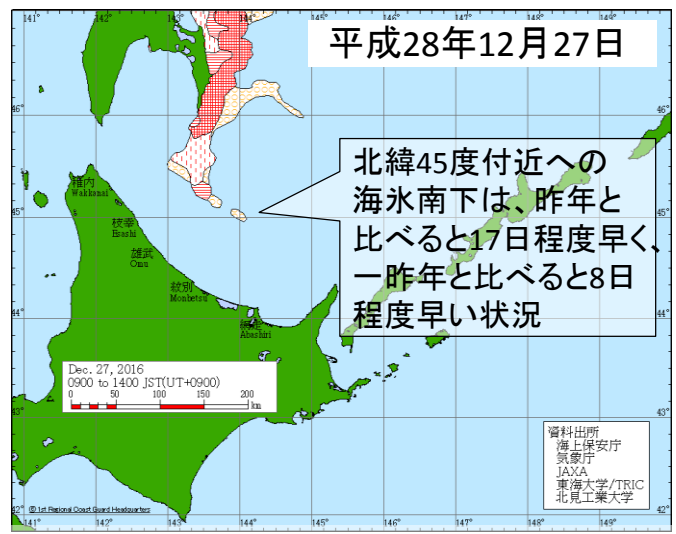
# 今季の海水分布状況 (12月~2月)

凡例

1-3 4-6 7-8 9-10 雲

数字は密集度

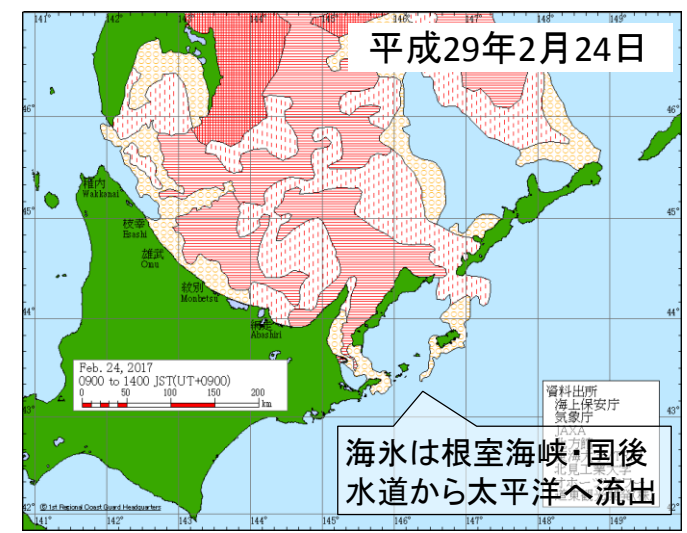
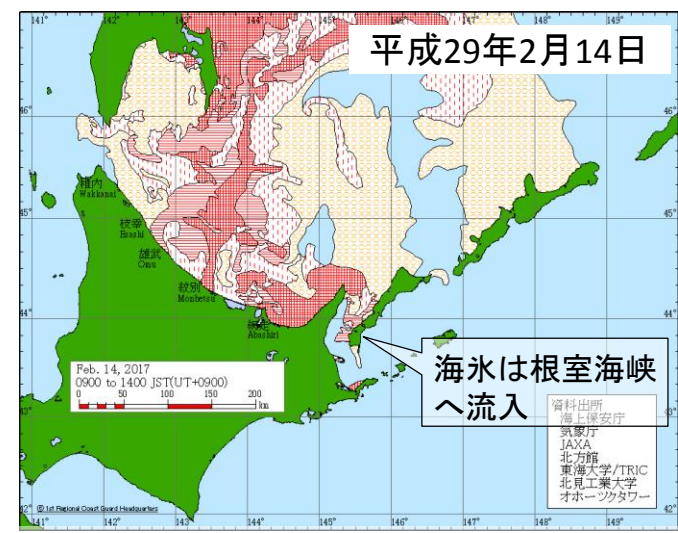
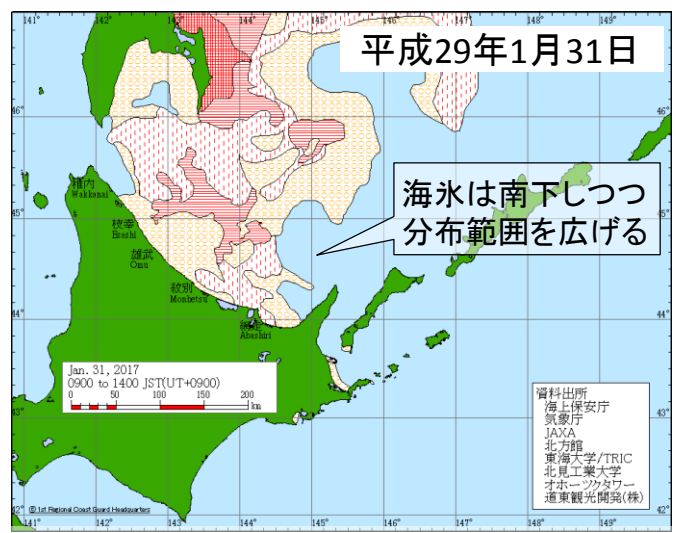
密集度: ある水域の氷の分布状況がバラバラになっているか、つまっているか、その平均の密集程度を10分位法で表したものだ。



- ・12月に北緯46度以南で海水が観測されたのは平成14年12月以来14年ぶり

- ・12/27から1月中旬まで海水南下は鈍くなる

- ・1/25、稚内で3年ぶりに流氷初日を観測
- ・1月に稚内で海水が観測されたのは平成13年1月以来16年ぶり



- ・1/26、紋別で平年より2日早い流氷初日を観測
- ・1/31、網走で平年より7日遅い流氷初日を観測

- ・2/15、羅臼で平年より8日遅い流氷初日を観測

- ・海水はゆっくりと分布範囲を広げる
- ・2/25、根室で平年より12日遅い流氷初日を観測

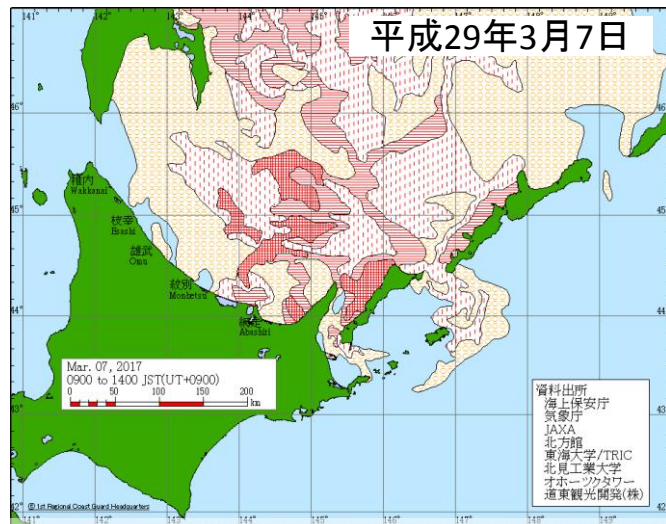


## 今季の海水分布状況 (3月~4月上旬)

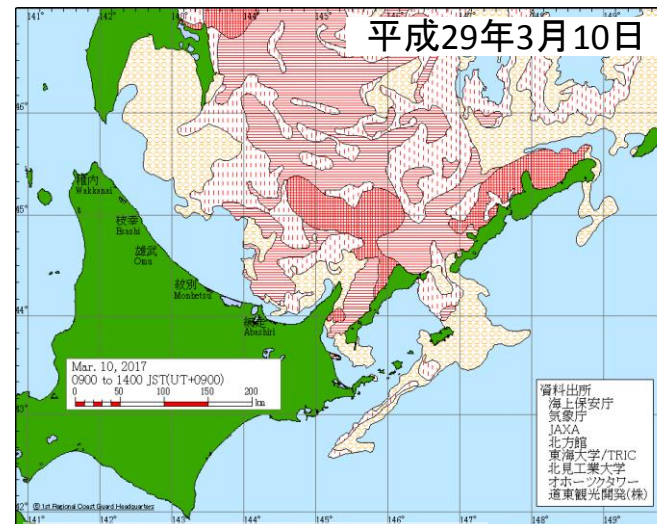
凡例

数字は密集度

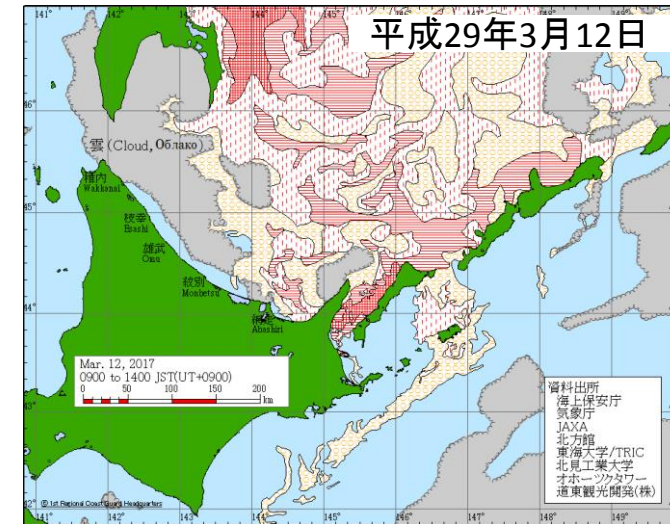
密集度: ある水域の氷の分布状況がバラバラになっているか、つまっているか、その平均の密集程度を10分位法で表したものを。



平成29年3月7日



平成29年3月10日

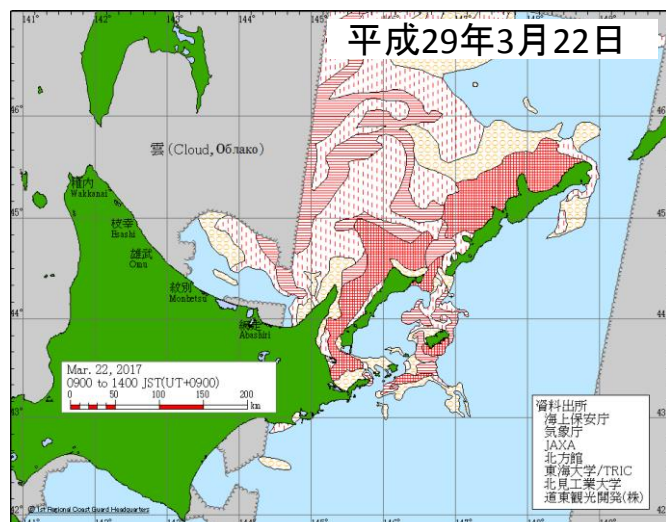


平成29年3月12日

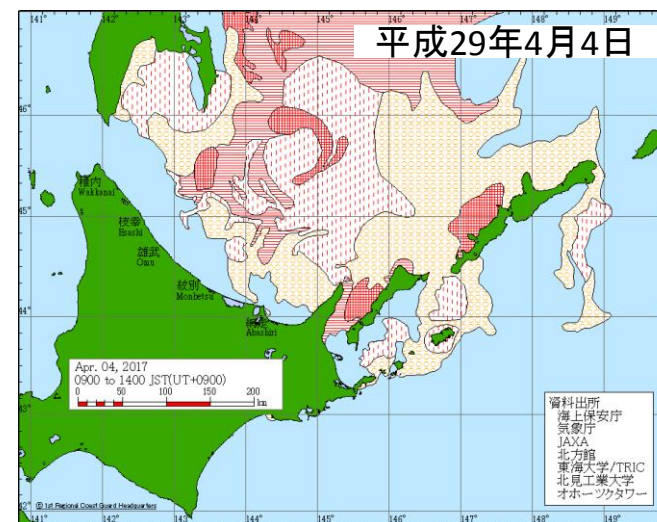
- ・3月上旬、海水は今季の最大勢力となる
- ・依然として、太平洋側へ海水流出が続く
- ・3/2、紋別で平年より26日早い流水終日を観測

- ・厚岸沖まで海水が南下
- ・サロマ湖以北では海水が衰退

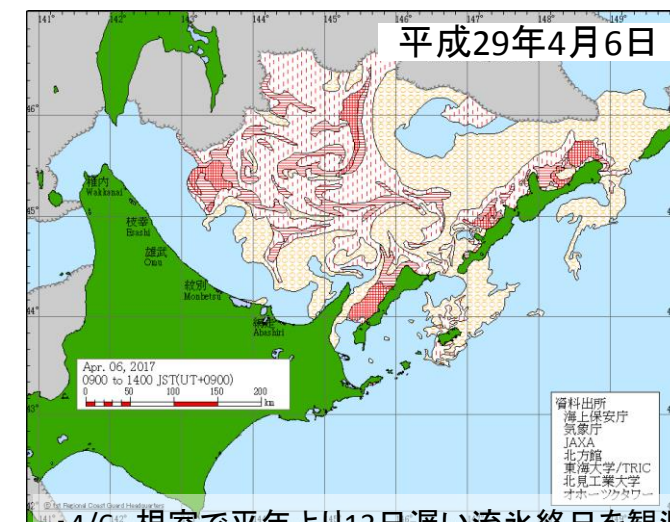
- ・襟裳岬東方まで海水が南下
- ・前日3/11、羅臼で海水海難発生



平成29年3月22日



平成29年4月4日



平成29年4月6日

- ・3/22、花咲で平年より18日遅い流水初日を観測
- ・3/22、釧路で海水接岸(当センターの記録では、平成15年以来、14年ぶり)

- ・太平洋側へ流出した海水は衰退

- ・4/6、根室で平年より13日遅い流水終日を観測
- ・4/7、羅臼で平年より2日遅い流水終日を観測
- ・4/8、花咲で平年より19日遅い流水終日を観測

## 今季の海水分布状況（4月中旬～）

凡例

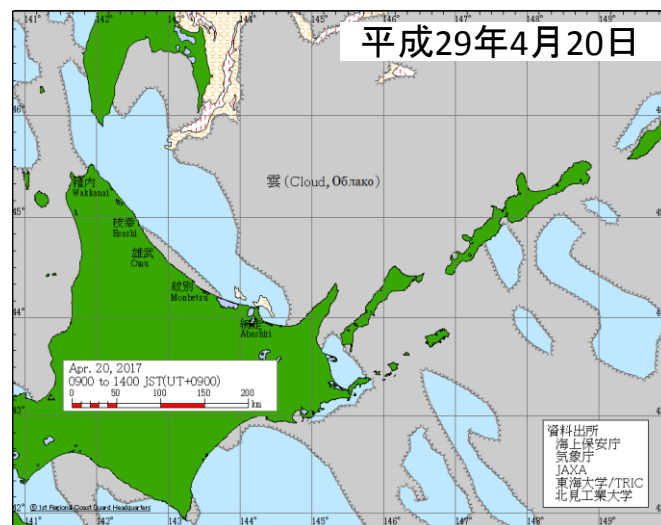
数字は密集度

密集度：ある水域の氷の分布状況がバラバラになっているか、つまっているか、その平均の密集程度を10分位法で表したものを。



平成29年4月14日

- ・海水の衰退は、平年と比べて2～19日遅い



平成29年4月20日

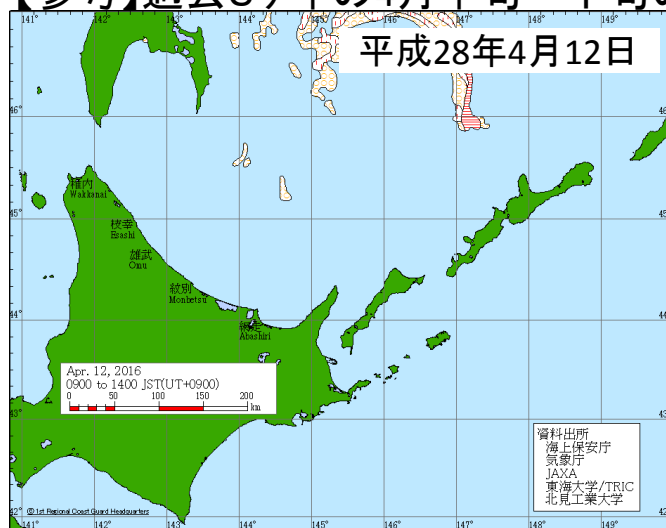
- ・4/20、流水が網走沖まで再南下
- ・4/20、網走で平年より19日遅い流水終日を観測



平成29年4月25日

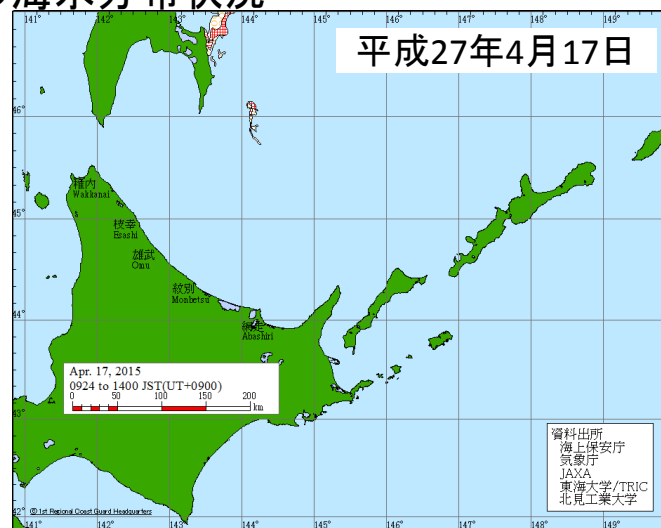
- ・4/25現在、海水は北緯45度30分（枝幸の沖合い約80km）付近まで衰退（北上）

## 【参考】過去3ヶ年の4月中旬～下旬の海水分布状況



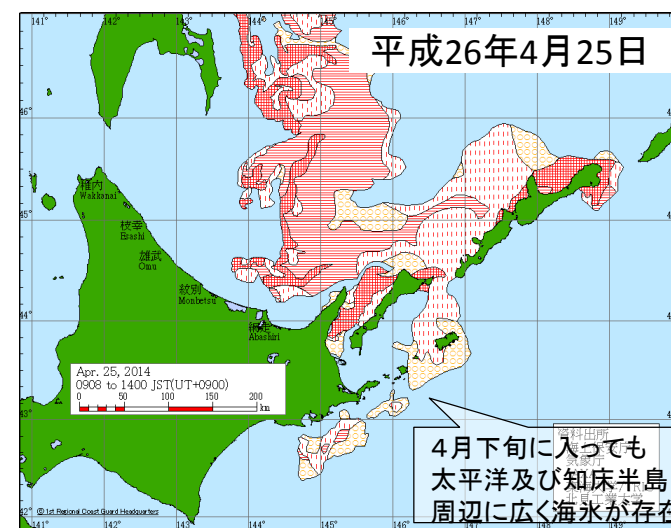
平成28年4月12日

- ・海水情報センター閉所日：4月19日
- ・海水の衰退は、平年と比べて1～3週間早い



平成27年4月17日

- ・海水情報センター閉所日：4月21日
- ・海水の衰退は、平年と比べて2～4週間早い



平成26年4月25日

- ・海水情報センター閉所日：5月12日
- ・海水の衰退は、平年と比べて2～4週間遅い



## (1) 流水初日(視界内の海面に初めて流水が現れた日)

観測点	今季	平年値	平年値との比較	前季	前季との比較	観測史上最早の日	観測史上最遅の日	参考情報
稚内	1月25日	2月14日	20日早い	観測なし	—	1月8日 (2001年)	4月5日 (2006年)	観測されたのは3年ぶり
紋別	1月26日	1月28日	2日早い	2月9日	14日早い	12月26日 (1957年)	3月21日 (1989年)	「観測なし」の年はない
網走	1月31日	1月24日	7日遅い	2月2日	2日早い	1月3日 (1967年)	2月10日 (1993年)	「観測なし」の年はない
羅臼※	2月15日	(2月7日)	(8日遅い)	(3月25日)	(38日早い)	1月15日 (1961年)	3月25日 (2016年)	「観測なし」の年はない
根室	2月25日	2月13日	12日遅い	観測なし	—	1月3日 (57.61年)	3月21日 (1993年)	観測されたのは2年ぶり
花咲	3月22日	3月4日	18日遅い	観測なし	—	1月21日 (1977年)	4月7日 (1999年)	観測されたのは2年ぶり

## (2) 流水終日(視界内の海面で流水が最後に見えた日)

観測点	今季	平年値	平年値との比較	前季	前季との比較	観測史上最早の日	観測史上最遅の日	参考情報
稚内	1月25日	3月9日	43日早い	観測なし	—	1月23日 (1959年)	4月8日 (1965年)	「観測なし」の年は度々あり
紋別	3月2日	3月28日	26日早い	3月8日	6日早い	2月19日 (76.11年)	5月8日 (1993年)	「観測なし」の年はない
網走	4月20日	4月1日	19日遅い	3月18日	17日遅い	2月16日 (2006年)	5月10日 (1993年)	「観測なし」の年はない
羅臼※	(4月7日)	(4月5日)	(2日遅い)	(3月29日)	(9日遅い)	2月23日 (1989年)	5月13日 (65.79年)	「観測なし」の年はない
根室	4月6日	3月24日	13日遅い	観測なし	—	2月23日 (2006年)	4月23日 (1965年)	「観測なし」の年は過去9回あり
花咲	4月8日	3月20日	19日遅い	観測なし	—	2月4日 (1979年)	4月9日 (83.14年)	「観測なし」の年は度々あり

## (3) 結氷初日(港内の海面が初めて結氷した日)

観測点	今季	平年値	平年値との比較	前季	前季との比較	観測史上最早の日	観測史上最遅の日	参考情報
稚内	1月13日	1月9日	4日遅い	12月23日	21日遅い	12月4日 (1993年)	2月10日 (2009年)	「観測なし」の年は過去5回目あり
紋別	12月31日	1月6日	6日早い	1月13日	13日早い	12月16日 (1992年)	2月9日 (2004年)	「観測なし」の年はない
網走	12月24日	12月28日	4日早い	1月5日	12日早い	12月5日 (1988年)	1月26日 (1965年)	「観測なし」の年はない
羅臼※	1月30日	(1月30日)	同日	(観測なし)	(—)	12月21日 (1961年)	2月19日 (59.15年)	「観測なし」の年は過去7回目あり
根室	12月20日	12月21日	1日早い	12月23日	3日早い	11月30日 (1956年)	2月1日 (2004年)	「観測なし」の年はない
花咲	12月26日	1月7日	12日早い	1月2日	7日早い	12月17日 (1986年)	2月21日 (1991年)	「観測なし」の年は1993年の1回

## (4) 結氷終日(港内の海面が結氷しなくなった日)

観測点	今季	平年値	平年値との比較	前季	前季との比較	観測史上最早の日	観測史上最遅の日	参考情報
稚内	2月25日	2月26日	1日早い	2月15日	10日遅い	12月31日 (2002年)	4月5日 (1965年)	「観測なし」の年は過去5回あり
紋別	3月18日	3月23日	5日早い	3月14日	4日遅い	2月28日 (2015年)	4月14日 (1986年)	「観測なし」の年はない
網走	3月28日	3月23日	5日遅い	3月23日	5日遅い	2月25日 (2010年)	4月29日 (1956年)	「観測なし」の年はない
羅臼※	(4月7日)	(3月11日)	27日遅い	(観測なし)	(—)	1月22日 (1990年)	4月24日 (1988年)	「観測なし」の年は過去7回あり
根室	3月30日	3月23日	7日遅い	3月13日	17日遅い	3月3日 (89.90年)	4月24日 (1965年)	「観測なし」の年はない
花咲	4月2日	3月16日	17日遅い	3月22日	11日遅い	2月14日 (1979年)	4月15日 (2014年)	「観測なし」の年は1993年の1回

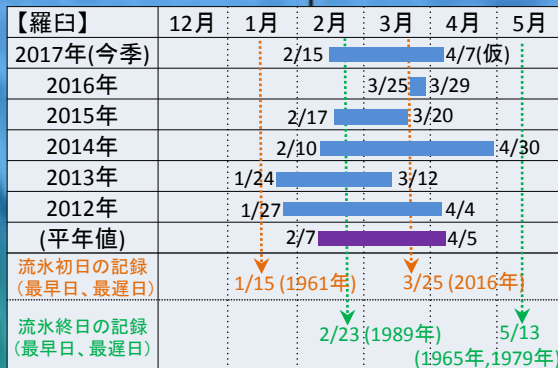
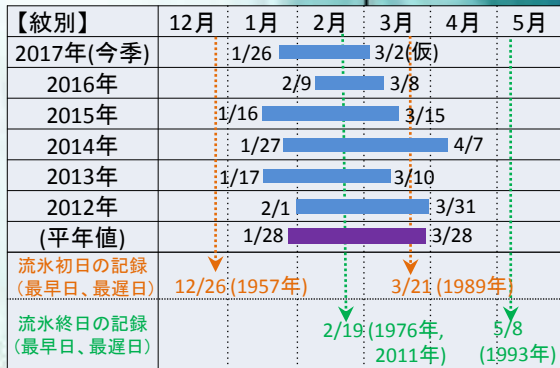
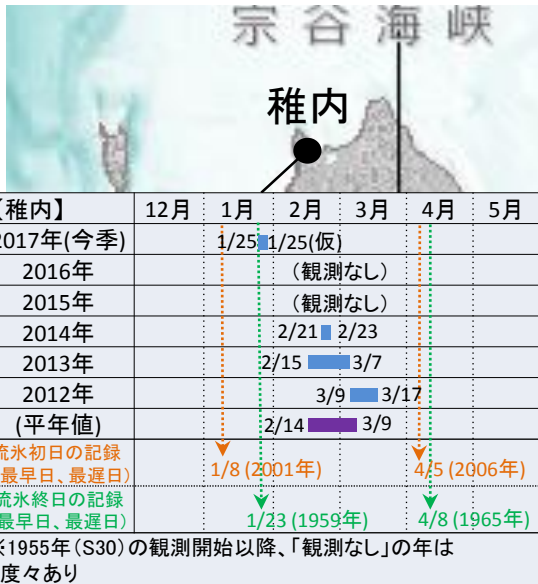
平年値は1981年～2010年(海氷年)の30ヶ年の平均値

観測史上最早の日又は観測史上最遅の日は、観測を開始した1955年(海氷年)以降の極値

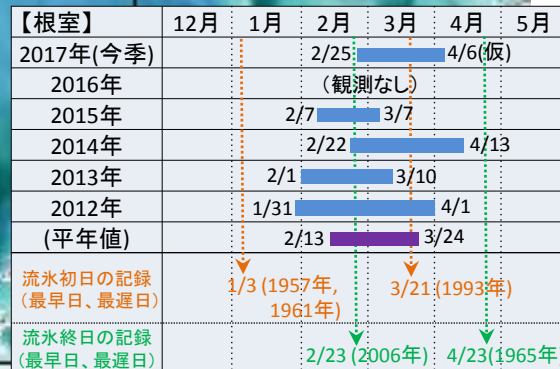
※「羅臼」は2008年から土日祝日の観測を中止した。また平年値は1981～2007年の27ヶ年の平均値

# 近年の海水状況(流水初日・終日)

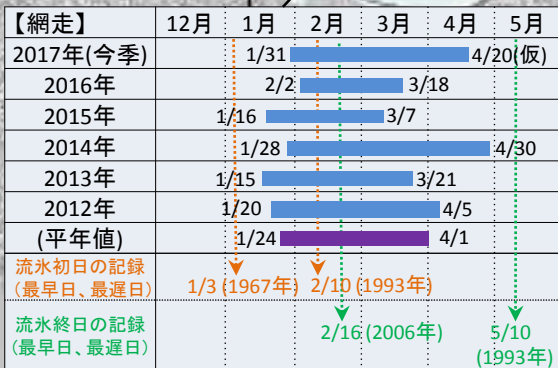
平成29年4月24日時点



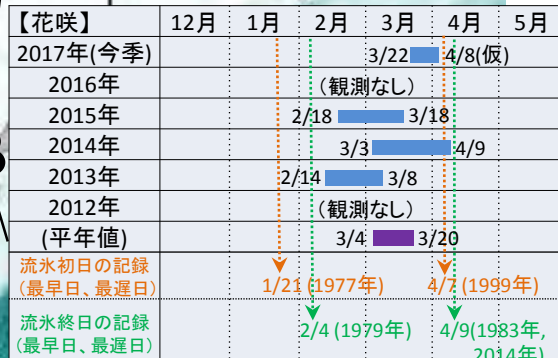
※2008年以降は、平日のみの観測結果による  
 ※1955年の観測開始以降、「観測なし」の年は無い



※1955年(S30)の観測開始以降、「観測なし」の年は、1972年、1977年、1988~91年、2007年、2010年、2016年



※1955年(S30)の観測開始以降、「観測なし」の年は無い



※1974年(S49)の観測開始以降、「観測なし」の年は度々あり

## グラフ及び用語の解説

	1月	2月	3月	4月
2016年		2/2		3/18
2015年	1/16			3/15
(平年値)	1/24			4/1

( ) 流水初日 ( ) 流水終日

平年値:1981年~2010年の30年平均

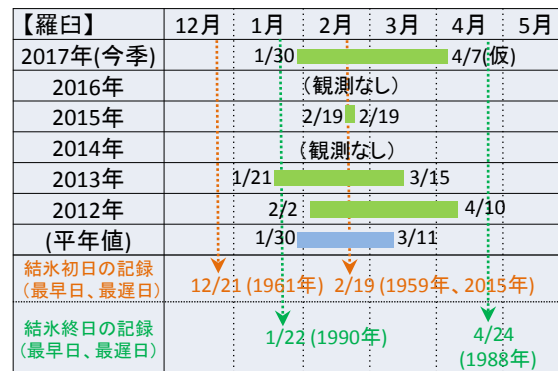
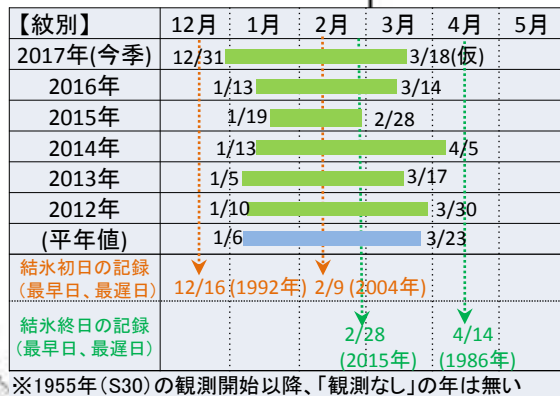
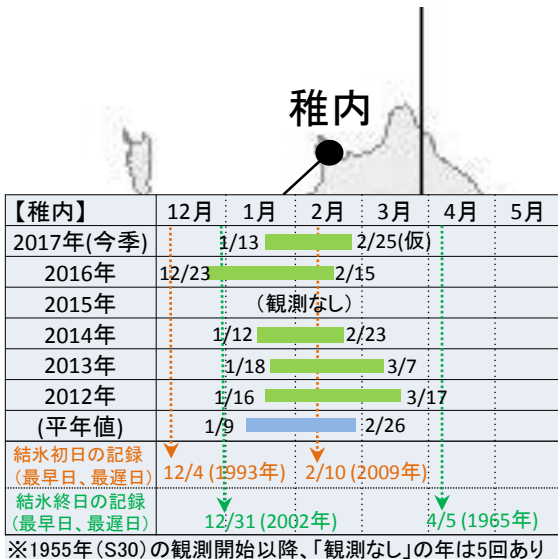
(羅臼は1981年~2007年の27年平均)

流水初日: 視界内の海面に初めて流水が見えた日

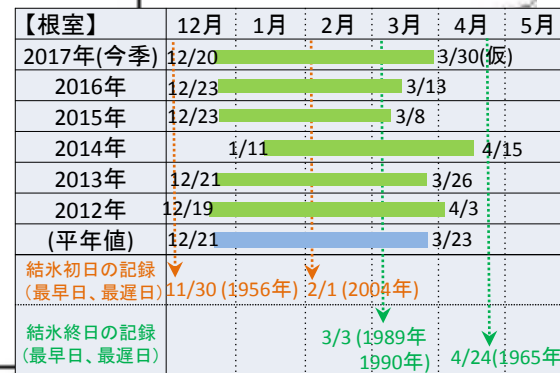
流水終日: 視界内の海面で流水が見えた最後の日



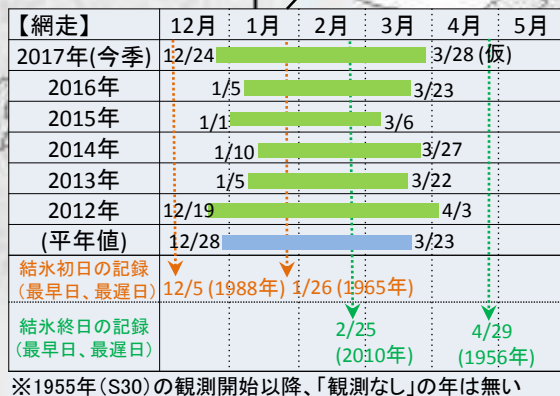
# 近年の海水状況(港内結氷の初日・終日) 平成29年4月24日時点



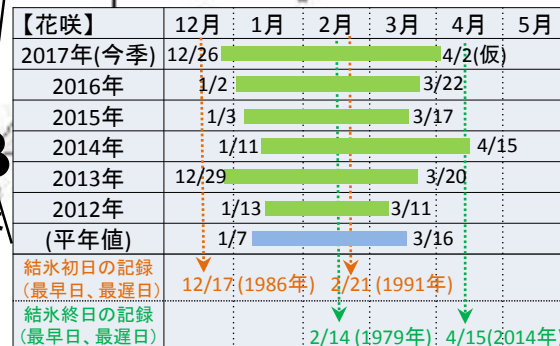
※2008年以降は、平日のみの観測結果による  
 ※1955年の観測開始以降、「観測なし」の年は7回あり



※1955年(S30)の観測開始以降、「観測なし」の年は無い



※1955年(S30)の観測開始以降、「観測なし」の年は無い



※1974年(S49)の観測開始以降、「観測なし」の年は1993年の1回

## グラフ及び用語の解説

	12月	1月	2月	3月
2017年		1/2		
2016年		1/12		3/6
(平年値)		1/6		3/23

( ) 港内結氷初日 ( ) 港内結氷終日

平年値: 1981年~2010年の30年平均  
 (羅臼は1981年~2007年の27年平均)

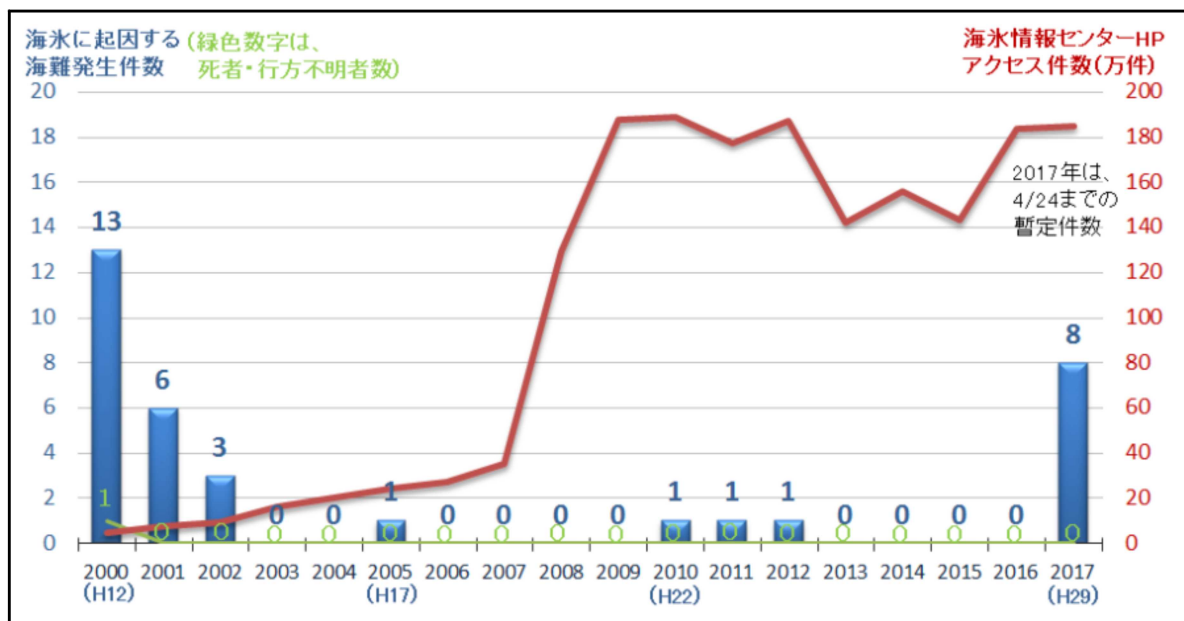
港内結氷初日: 港内で初めて新成氷が生じた日

港内結氷終日: 港内で定着氷、新成氷が見られた最後の日

## 平成12年(2000年)以降の海氷に起因する海難発生状況

## 1. 海氷に起因する海難発生件数の推移

(参考情報として、海氷情報センターホームページアクセス件数を重畳)



## 2. 海氷に起因する主な海難の概要

年月	発生場所	海難の概要
平成12年 (2000年) 3月	歯舞漁港付近	歯舞漁港に寄港中の漁船(12トン、6名乗組み)が、流水帯を避けながら航行している際、暗礁に乗揚げた。その際に前部甲板で見張りをしていた甲板員1名が海中転落し、翌日遺体で発見された。乗揚げた船体は解体撤去された。
平成22年 (2010年) 1月	国後島案渡移矢岬 西北西方約10海里	根室海峡周辺の海氷域において操業中の刺し網漁船(19トン、8名乗組み)が、海氷との接触で船底に生じた破口から機関室に浸水した。同漁船は付近で操業中の僚船及び巡視船の支援を受けて排水作業を行いつつ自力帰港した。
平成23年 (2011年) 2月	羅臼港沖	羅臼沖において帰港中の刺し網漁船(19トン、6名乗組み)が海氷に閉じ込められ航行不能となった。僚船からの通報を受けた巡視船が、漁船の自力航行が可能となるように水路を開きながら安全な水域まで先導し救助を行った。
平成24年 (2012年) 2月	宗谷岬東方 約12海里	宗谷岬沖を航行していた外国船籍貨物船(48トン、7名乗組み)が、点在する海氷の塊を避けきれずにその内の1つと衝突。衝突箇所に亀裂が生じ浸水したが、乗組員が排水作業を行いつつ自力で稚内港に入港した。
平成29年 (2017年) 3月	羅臼港沖	羅臼沖において帰港中の刺し網漁船8隻(全て19トン、計56名乗組み)が、海氷に進路を阻まれ航行不能となった。通報を受け出動した巡視船が航路を切り開く作業を行い、全船を救助した。